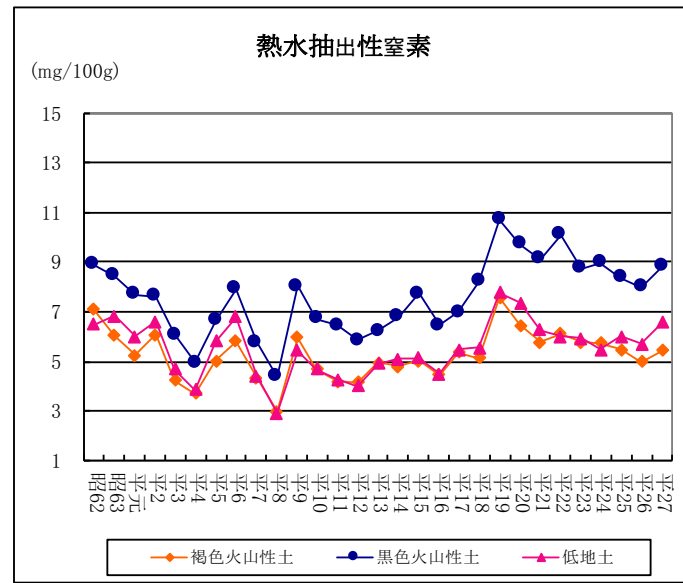
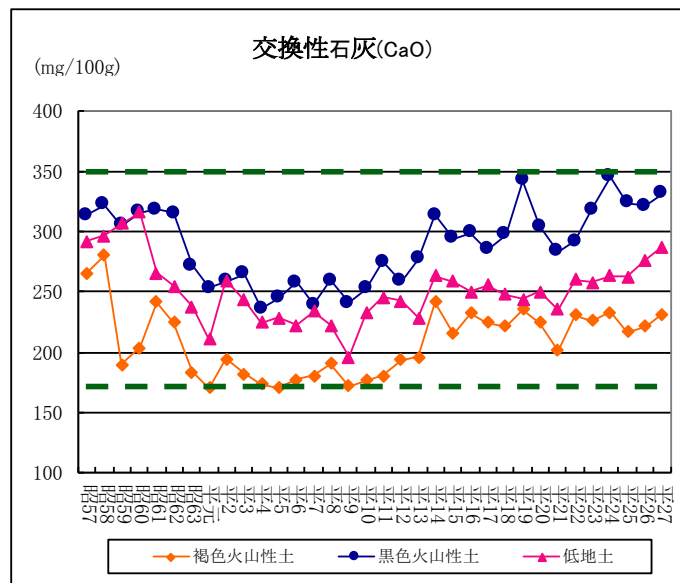
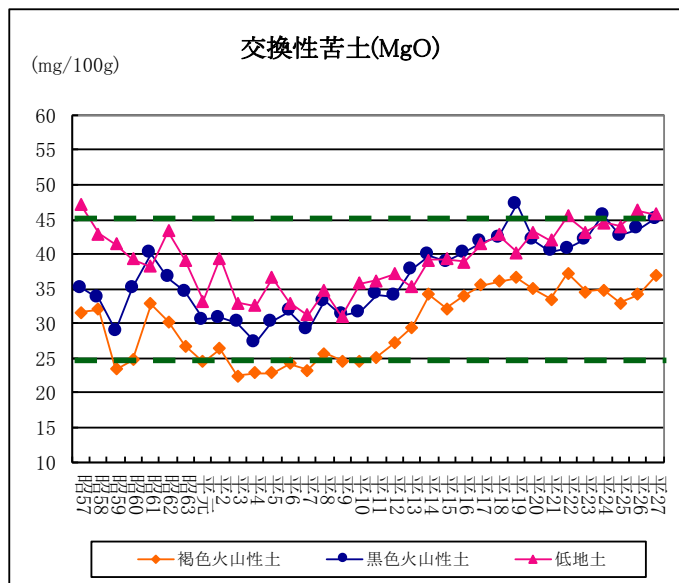
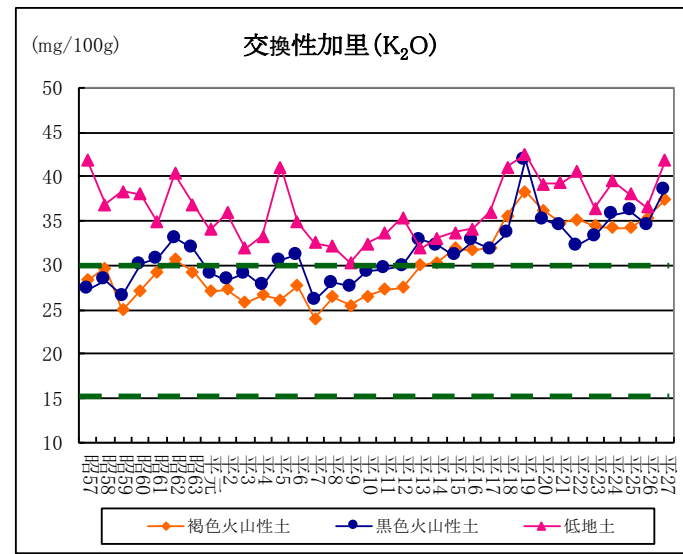
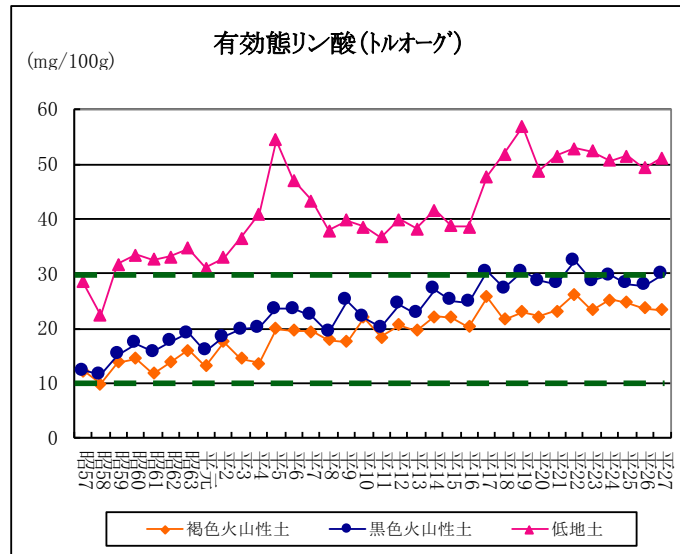
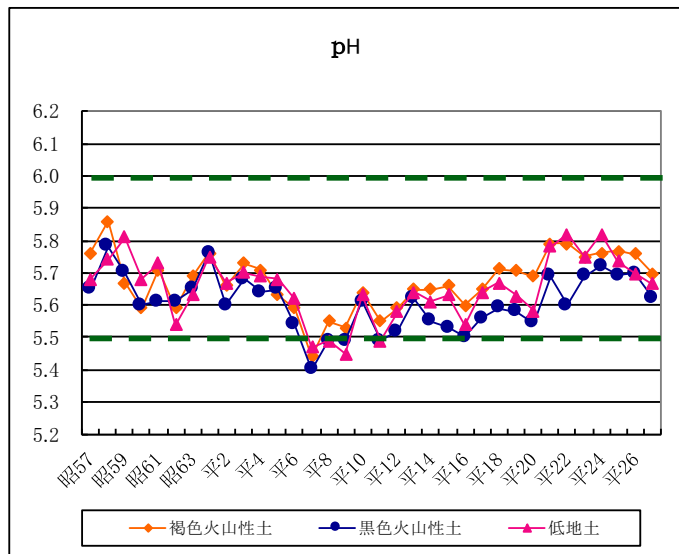
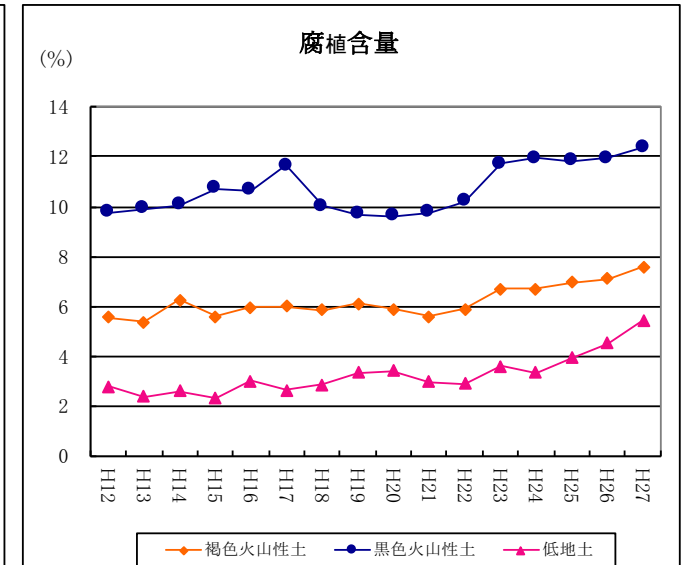
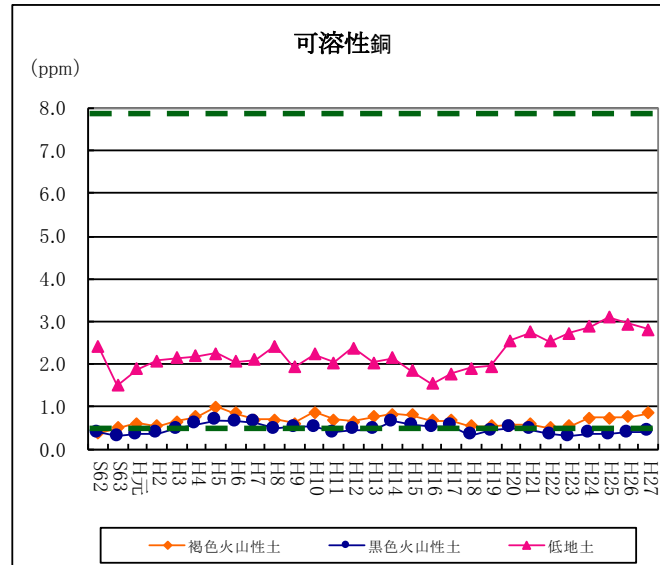
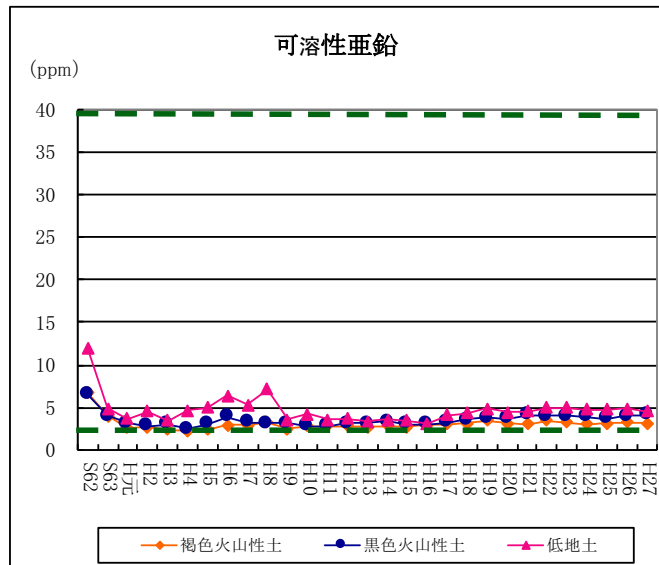
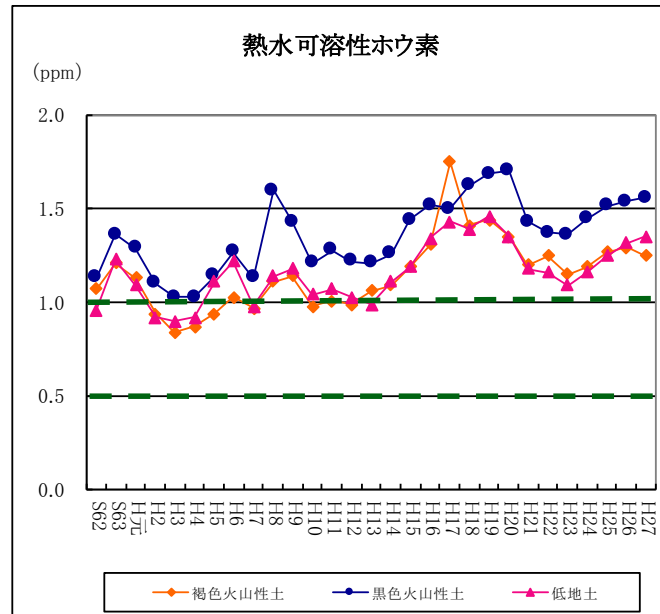
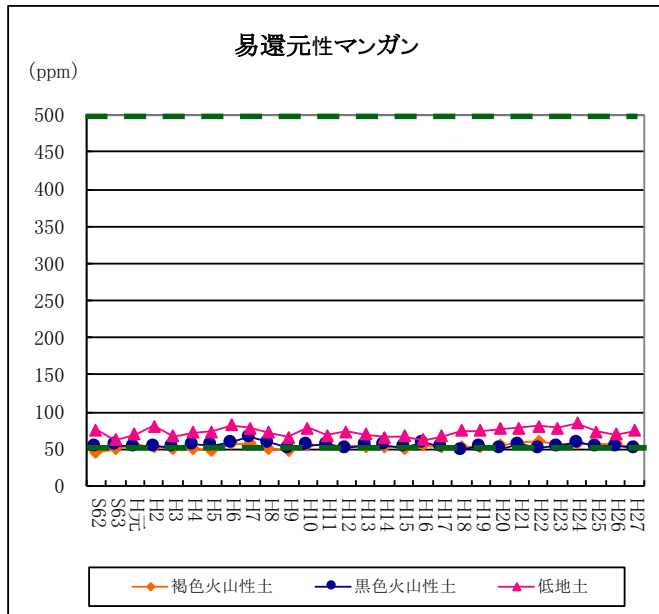


十勝管内における畑地土壌分析値の推移グラフ (平成28年3月31日現在)



注) — — は北海道施肥ガイド2010における基準値の幅を示しています。(交換性石灰は中粒質土壌の基準値)

十勝管内における畑地土壌分析値の推移グラフ (平成28年3月31日現在)



注) これらのデータはページ1、ページ2ともに十勝農協連農産化学研究所で分析されたものである。植物生産土壌学の講義で使用するため、研究所からの許可を得て掲載するものである。

畑土壌の化学性に関する基準値

(北海道施肥ガイド2015 による)

診断項目	基準値	単位	参考	備考
pH(H ₂ O)	5.5 - 6.5		十勝農協連では 5.5 - 6.0	
有効態リン酸	10 - 30	mg/100 g	春まき小麦は20 - 30が望ましい	トルオーグ法
交換性CaO	100 - 170	mg/100 g	粗粒質土壌 7 - 12 me/100g	
	170 - 350		中粒質土壌 12 - 25 me/100g	
	350 - 490		細粒質土壌・泥炭土壌 25 - 35 me/100g	
交換性MgO	25 - 45	mg/100 g		
交換性K ₂ O	15 - 30	mg/100 g		
石灰飽和度	40 - 60	%		
塩基飽和度	60 - 80	%		
Ca/Mg	6 以下			当量比
Mg/K	2 以上			当量比
易還元性マンガン	50 - 500	ppm		
交換性マンガン	4 - 10	ppm		
熱水可溶性ホウ素	0.5 - 1.0	ppm		
可溶性亜鉛	2 - 40	ppm		0.1 N 塩酸抽出
可溶性銅	上限値 8	ppm		0.1 N 塩酸抽出
	下限値		腐植5%未満: 0.7	
			腐植5-10%: 0.5	
			腐植10%以上: 0.3	